

世界一の長寿国となったわが国では、透析医療の目的も、生存期間延長から、個々人がその人らしい人生を送ることの支援に移りつつある。90歳以上の超高齢者であっても、透析療法によって質の高い生活を送ることができる人も多い。一方、進行した心血管病、悪性腫瘍によって全身状態が不良となり、透析療法が困難となる患者も少なくあり、透析療法に代わる選択肢として、保存的腎臓療法（CKM）がある。

CKMは透析見合わせと同義ではなく、透析は行わないにしても、症状緩和や精神的、社会的支援を行うものである。「透析は難しい」といって、腎臓・透析専門医に紹介されなかった患者のなかには、腎不全特有の症状に対して十分なケアが受けられなかった患者もいるだろう。また、合併症の進行により透析中止となった場合、十分な緩和ケア・支持療法が受けられなかった透析患者もいるだろう。

「透析見合わせ」か「維持透析」か、の二者択一で捉える必要もない。透析中の血圧低下などで透析困難となった血液透析患者が、腹膜透析に移行することもある。状態によっては、徐々に透析回数を減らす（decremental）こともあり、こうした場合にもCKMや腎臓支持療法の考え方やケア手法が役立つであろう。

本特集のタイトルは「保存的腎臓療法（CKM）」としたが、CKMを選択した患者だけでなく、透析を選択した患者に対する腎臓支持療法も含めて考察している。厳密に言えば、タイトルは「CKMと腎臓支持療法」となるだろうが、全人的、患者中心の末期腎不全医療の方向性を探るものと捉えていただきたい。

難しいテーマに対し、論文を執筆いただいた著者の先生方に深く御礼申し上げます。

（小松康宏）

2023年（Vol. 39）特集のご案内

- No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める
—専門医との連携を目指して
- No.② 血液透析導入の処方
- No.③ 透析スタッフのメンタルヘルス
- No.④ もっと知ろう 透析患者の栄養と身体評価

- No.⑤ オンライン HDF の基礎から応用
- No.⑥ 保存的腎臓療法（CKM）
- No. 7 透析施設における感染症対策〔増刊号〕
- No. 8 腹膜透析の展開—生き残りをかけた在宅医療

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.39 No.6

© 2023 年 6 月 10 日発行
定価：2,860 円
（本体 2,600 円＋税 10%）

- ・ 2023 年 年間購読料（増刊号含む 13 冊，税込）
冊子版 39,050 円
電子版（個人のみ） 39,050 円
冊子版＋電子版（個人のみ） 44,550 円
（詳しくはホームページをご覧ください）
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話（03）3291-3901（代）FAX（03）3291-3904

編集直通電話（03）3291-3971（代）FAX（03）3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話（03）3814-8541